

## 数値目標

項目	現状	目標
t-PA療法の実施件数 (人口10万人対比)	福井県 18.1件 全 国 11.9件(R3)	全国平均以上
脳梗塞(急性期)に対する脳血管内治療 (経皮的脳血栓回収術等)の実施件数 (人口10万人対比)	福井県 15.6件 全 国 13.9件 (R3)	全国平均以上
地域連携クリティカルパス導入 医療機関数	急性期 11箇所 回復期 24箇所 (R4)	急性期、回復期とも に1箇所以上増加
地域連携クリティカルパスの適用率	28.9% (R3.11~R4.10)	30%以上

脳卒中の医療体制構築に係る指標

区分	指標 (●:重点指標)	現状			数値目標	
		福井県	全国平均	備考		
予防	プロセス	予防 喫煙率 【国民生活基礎調査】	男性 29.7 女性 6.7	男性 28.8 女性 8.8	調査年 令和元年	
		ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) 【NDB】	168人/10万人対	132人/10万人対	調査年 令和3年	
		脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 【患者調査】	70.8人/人口10万人対	67.7人/人口10万人対	調査年 令和2年	
		特定健康診査の受診率 【国民生活基礎調査】	55.5%	55.6%	調査年 令和元年	
		特定保健指導の受診率 【国民生活基礎調査】	24.9%	23.2%	調査年 令和元年	
		高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 【患者調査】	214.0人/人口10万人対	215.3人/人口10万人対	調査年 令和2年	
予防 救護 急性期 回復期 維持期	アウトカム	脳血管疾患により救急搬送された患者数 【患者調査】	1.3千人/10万人対	4.7千人/10万人対	調査年 令和2年	
		年齢調整死亡率 【都道府県別年齢調整死亡率(業務・加工統計)】	男性 32.1 女性 20.2	男性 33.2 女性 18.0	調査年 令和元年	
救護	アウトカム	脳血管疾患により救急搬送された患者の圏域外への搬送率 【患者調査】	48.1%	40.5%	調査年 令和2年	
		救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 【救急・救助の現状】	36.1分	42.8分	調査年 令和3年	
急性期	ストラクチャー	神経内科医師数、脳神経外科医師数 【医師・歯科医師・薬剤師調査】	神経内科医師 4.5人/人口10万人対 脳神経外科医師 6.4人/人口10万人対	神経内科医師数 4.5人/人口10万人対 脳神経外科医師数 5.8人/人口10万人対	調査年 令和2年	
		脳卒中の専門病室を有する病院数・病床数 【医療施設調査】 【診療報酬施設基準】	2施設 0.26施設/人口10万人対 18病床 2.3病床/人口10万人対	0.15施設/人口10万人対 1.24病床/人口10万人対	調査年 令和2年	
		脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な病院数 【診療報酬施設基準】	9施設 1.16施設/人口10万人対	0.9施設/人口10万人対	調査年 令和3年	
		● 脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数	8施設 1.0施設/人口10万人対	0.5施設/人口10万人対	調査年 令和2年	
		理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のそれぞれの人数	理学療法士 78.9人/人口10万人対 作業療法士 46.7人/人口10万人対 言語聴覚士 17.3人/人口10万人対	理学療法士 79.4人/人口10万人対 作業療法士 40.2人/人口10万人対 言語聴覚士 14.1人/人口10万人対	調査年 令和2年	
		リハビリテーション科医師数	2.1人/人口10万人対	2.3人/人口10万人対	調査年 令和2年	
急性期 回復期 維持期	●	リハビリテーションが実施可能な医療機関数 【診療報酬施設基準】	65施設 8.4施設/人口10万人対	6.4施設/人口10万人対	調査年 令和3年 脳血管疾患等リハビリテーション科(1)～(Ⅱ)の届出施設数	

区分	指標 (●:重点指標)	現 状			数値目標
		福井県	全国平均	備考	
急性期	プロセス	脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法適用患者への同療法実施件数【NDB】	140件 18.1件/人口10万人対	11.9件/人口10万人対	調査年 令和3年 全国平均以上を維持
		脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施件数【NDB】	121件 15.6件/人口10万人対	13.9件/人口10万人対	調査年 令和3年 全国平均以上を維持
		くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数【NDB】	21件 2.7件/人口10万人対	4.3件/人口10万人対	調査年 令和3年
		くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数【NDB】	79件 10.6件/人口10万人対	4.6件/人口10万人対	調査年 令和3年
急性期回復期	プロセス	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数【NDB】	792件/人口10万人対	742件/人口10万人対	調査年 令和3年
		脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数【NDB】	519件 67.0件/人口10万人対	31.9件/人口10万人対	調査年 令和3年 地域連携クリティカルパス実施医療機関数 急性期:12箇所以上 回復期:25箇所以上 地域連携クリティカルパスの適用率 30%以上
		脳卒中患者に対する嚥下機能訓練の実施件数【NDB】	222件/人口10万人対	259件/人口10万人対	調査年 令和3年
	アウトカム	退院患者平均在院日数【患者調査】	67.6 (福井・坂井519、奥越67.1、丹南113.1、嶺南64.4)	55.2	調査年 令和2年
急性期回復期維持期	●在宅等生活の場に復帰した患者の割合【患者調査(個票)】	59.6 (福井・坂井62.2、奥越72.7、丹南52.8、嶺南52.8)	55.5	調査年 令和2年	